

うつくしま夢だより

News Of Fukushima 2005 / December No.201

平成17年
2005年

12月1日

NO.201 隔月発行

1-2年



特集①

「もったいない」の心で

未来を！

循環型社会を目指して――

特集②

「福島空港」を探検しよう！



うつくしま、ふくしま。
福島県



妻の美緒さんと

木に学びながら作り、
木と共に暮らしています。



木地を生かした掛時計



ギャラリーになった教室

表紙の人

天栄村 かっども
若林 克友さん
(木工家)

小さい頃から木をいじるのが大好きだったという若林さん。長野県での中高時代を経て、郡山の日大工学部建築学科を卒業。昨年、ここ天栄村の廃校を利用して「めばえ工舎」を開きました。かつての音楽室や教室は、制作工房として生まれ変わったのです。「木と向かい合い、木と共に作りあげること」を大事にしているという若林さん。主に椅子やテーブルなど家具類の注文制作を行っています。掛時計やくつぺらといった小品は併設するギャラリーで展示販売もしています。「将来的には内装・建築とあわせたものづくりをしていきたい」と熱意も十分。妻の美緒さんは学生時代の後輩で、ギャラリーと制作補助を担当しています。もうすぐ2度目の冬を迎える「めばえ工舎」。12月から3月は制作期間のため、ギャラリーは休業するそうです。

もくじ

- 特集[1]
「もったいない」の心で未来を! ③
循環型社会を目指して——
- ニュース
県職員の給与 ⑦
- 特集[2]
福島空港を探検しよう! ⑧
- ちいさの広場
白沢村/会津若松市/田村市/
福島市/田島町/いわき市/須賀川市 ⑩
- お知らせ
募集/案内/お願い ⑫
- グループ紹介
なの花会の皆さん ⑬



県政広報ガイド

テレビ

ときめきうつくしま <small>(12月25日放送の番組より)</small>	FTV	毎週日曜日 9:45~10:00 (再放送 翌週日曜日6:45~7:00)
「ときめきうつくしま」を振り返りながら、「県政この一年」と題し、今年1年の県の動きを紹介		
おしえて!うつくしま <small>(12月4日放送の番組より)</small>	FCT	毎週日曜日11:00~11:15 (再放送 翌週日曜日6:00~6:15)
県民が安心して暮らせるよう、医師不足を解消する「へき地医療対策」の取り組みを紹介		
トピックスうつくしま	KFB	毎週土曜日12:55~13:00
ウィークリーうつくしま	TUF	毎週日曜日11:40~11:45

ラジオ

知事さんふれあいトーク	rfc	毎月最終火曜日12:30~12:45
ふくしまEVENING BREAK	ふくしまFM	月~金曜日17:30~17:35

新聞

目で見える県政	福島民報	12月11日、1月15日
県民のページ	福島民友	12月11日、1月15日
県政だより	いわき民報	1月14日
県からのお知らせ	民報・民友	12月11・25日、1月15・28日

情報誌

グラフうつくしま	冬号	1月1日
----------	----	------

県の主要計画や県内の観光地などをホームページでご覧ください。

URL <http://www.pref.fukushima.jp/>

「もったいない」

誰もが普段何気なく口にしたり、耳にしている言葉ではないでしょうか。今、「もったいない」という言葉が、注目を浴びています。

県内でも、ケニア副環境大臣ワンガリ・マータイさんの提唱をきっかけに「もったいない運動」が盛り上がりつつあります。

今回は、「もったいない」をキーワードに、豊かな地球環境を未来に引き継いでいける社会について、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

特集

1

「もったいない」の 心で未来を!

循環型社会を目指して——

未来のために

地球の悲鳴が聞こえますか?
深刻な地球環境問題

私たちは、森を切り開き、街や道路を作り、また石油・石炭などからエネルギーを得たり、さまざまな生活用品を製造するなど、経済優先の考えで豊かさを追い求めてきました。しかし、地球は今、こうした人類の活動に耐えきれずに悲鳴を上げています。地球温暖化やオゾン層の破壊、酸性雨の発生、野生生物種や熱帯林の減少、砂漠化の進行など、深刻な環境問題を招いています。このままでは人類の生存さえも危うくなると予測されています。

「もったいない」は
循環型社会の
キーワード

地球環境を健全な姿で未来に引き継ぐためには、省エネルギーやごみの減量化、リサイクルの推進など、自然環境に負担をかけないで自然と共生しながら持続可能な社会とすること、つまり循環型社会を形成することが求められています。

「もったいない」
運動とは

この取り組みをわかりやすく表現するキーワードが「もったいない」です。この言葉は、「物を無駄にしない」とともに、「ありがたい」、「おそれ多い」という意味を持ち、自然や人を大切にすることを教えています。「もったいない」の心で、私たち一人一人が率先して生活や行動を見直し、環境にやさしい生活に変えていくことが必要です。

環境分野で初めてノーベル平和賞を受賞したケニアの副環境大臣ワンガリ・マータイさんが提唱しているのが「もったいない運動」です。今年2月に来日した際、「もったいない」という言葉が、自身が取り組んでいる「3R(ごみの減量)リデュース、再利用リユース、再利用リサイクル」をわかりやすく表現していることを知り、大変な感銘を受けました。以来、マータイさんは国連の会議などにおいて、限られた資源を有効に利用しようとする世界に向けて「もったいない運動」を呼び掛けています。

県内の 「もったいない」の 取り組み

県内に広がる
「もったいない」の心



県商工会連合会
4R運動パネル

抑制(リフューズ)を加えたもの」
を、わかりやすく
表現していること
から、「もったいない
運動」と協力して

「もったいない」の「もったいない
運動」の呼び掛けに、県内でい
ち早く賛同したのが県商工会
連合会です。「もったいない」と
いう言葉は、平成9年から進め
てきた「4R運動(3Rにこみの

展開することを決定。今年の4
月には、「もったいない運動」の精
神を県の循環型社会の形成の
施策において取り入れることを
要望するなど、一層取り組みを
強化しています。
”つづくしま、ふくしま。県民
運動の推進会議でも、県商工会
連合会の支援要請を受け「もっ
たいない運動」の全県的な展開
の支援を決定しました。8月21
日の県民の日には「参加しない
と『もったいない!』フォーラム」を
開催。ルワンダの教育を考える



マリールイスさん

会のマリールイスさんの
基調講演や民話語り部による
地域に伝わるもったいない話、県
内の環境活動の実践者によるパ
ネルディスカッションが行われ、
来場者に「もったいない運動」への
参加と全県的な拡大への協力
を求めました。
「もったいない運動」は県内各
地に広がっています。

環境チケットで二石三鳥 三春町商工会女性部



倉生地を使用したオリジナルバックで
マイバック運動を呼び掛ける女性部員の方々。



環境チケットは何度も
繰り返し使われます。

三春町商工会は、平成9年か
ら4R運動に取り組みました。
女性部ではマイバック運動を
展開しています。より効果を高
めるため平成11年には、環境
チケットを導入しました。この
仕組みは、お店が商工会から
1枚3円のチケットを購入。レ
ジ袋は不要というお客さんに
チケットを渡します。チケット
10枚で町指定のごみ袋1枚と
交換できます。お店はレジ袋
の仕入費用が減少しますので
新たな負担はありません。お
客さんもお店も得して、ごみ

を減量できる、二石三鳥の仕組
みです。昨年1年間で7500
枚のレジ袋が節約されました。
現在、町内84店が参加してい
ます。お店の工夫により、シー
ルやスタンプカードなど、既存
の仕組みを活用することもで
きます。

この取り組みにはお客さん
の理解が不可欠です。使い終わ
ればごみになってしまいうレジ袋
「もったいない」と考え方を変え
て、マイバック運動に取り組ん
でみてください。

「もったいない」への 県民の皆さんの一言



いわき市 吉田 薫さん



●
みもの収集所を見ると
ふとんや電気器具な
ど使えるのではと思うものが
たくさん捨ててあります。もっ
たいないだらけだと思います。
私は、衣類は捨てないでフ
リーマーケットに出しています。
着ることができないのに捨てて
しまうのはもったいないです。

いわき市 佐藤 裕幸さん



●
電
気のつけっぱなしや必
要なのに電気を使っ
たりすることがあります。
もったいない運動については
聞いたことがありますが、中身
はよくわかりません。わかりや
すく提案してほしいと思います。

●
会津坂下町 大野 文子さん
城郷 恵理香さん
奈雄 子ちゃん



●
水
がもったいないですね。
雨水をためて洗濯や花
の水、靴を洗ったりしています。
家の周りに2カ所、お風呂
くらの大きな箱を置いて、
桶の雨水がたまるようにして
います。梅雨時は毎日、洗濯
の最初の水に使用しています。
近所でも評判ですよ。

「もったいない」は、「人や物を大切にする」という優しい心、「ありがたい」という感謝の心、「おそれ多い」という謙虚な心という3つの美徳が込められた、日本人に伝統的に引き継がれ



福島県知事
佐藤 栄佐久

「もったいない」の心を生かして

てきた心の琴線に触れる言葉です。

県では、本県の豊かですつくしい環境を将来の世代に引き継いでいくため、この「もったいない」をキーワードに、これまでのライフ

スタイルを見直し、環境への負荷の少ない循環型社会の実現に向けた取り組みを推進しています。

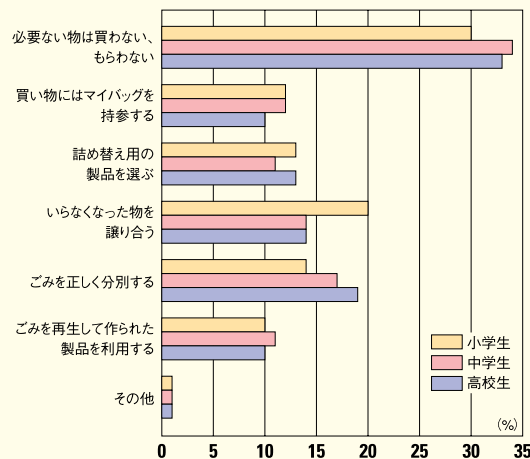
皆さんも「もったいない」の心で、環境にやさしい取り組みを実践してください。

「もったいない」に関するアンケート調査

(小・中・高校生2,453人)

「もったいない」という言葉は約98%が「知っている」と答えています。「ものを大切に、無駄にしない」社会をどうすれば良いかとの問いには、3Rの考え方と合致した回答が多数を占めました。

●あなたは「ものを大切に、無駄にしない」という意味の「もったいない」ということを大切に社会を作るために何をすれば良いと思いますか？(2つまで回答)



坂下小の学校生活に定着している「紙食い箱」。一年生でもきちんと活用しています。



「子どもたちの活動に感心させられます」と語る玉川校長先生。

紙食い箱で古紙のリサイクル 「会津坂下町立坂下小学校」

「紙食い箱」の取り組みは、昭和60年に始まりました。各教室や職員室、廊下などに設置した「紙食い箱」に、不要な紙や使用済みの紙を一時保管します。メモや図工の下敷きなど、紙が必要な時は「紙食い箱」から取り出し再使用します。使えなくなった紙は、最終的に町の資源物収集日に回収され、再生紙となります。坂下小学校では、子どもたちも教職員も普段の学校生活の一部として環境活動を20年以上継続してきました。小さな取り組みを

続けていくことが大切ですね。もったいないと言えば、会津坂下町では、給食センターの栄養士さんが給食で使用した材料について説明してくれ、町のどこで誰さんが作った野菜だとか、こんな風に調理したとか、顔の見える関係で食の大切さを教えてくれます。給食を作った人に感謝し、食べ物を大切にすると、「もったいない」感覚を子どもたちの身近なところで養っていくことが重要だと思っています。



●会津若松市 会津若松市 ボランティア連絡協議会の皆さん

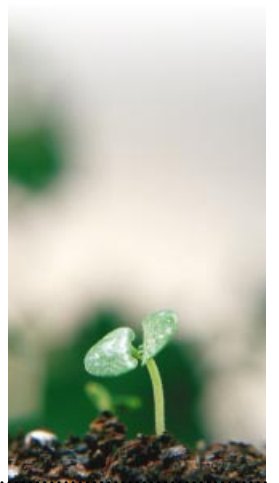
物 を大事にする心が崩れてしまっているようです。一度、崩れるとダメですね。もったいないのキャンペーンは、一定期間だけでなく、一年中やっています。長く続けることが大切ですから、県の封筒の下を再利用するアイデアはいいと思います。



●会津若松市 川島諒輔さん 波部光祐さん

県 の取り組みについては聞いたことがないです。みんなにわかるようにテレビでお知らせしてほしいです。屋の番組ではあまり見られないので、夜、CMでやればいいと思います。

県の取り組み



「もったいない」の心が生きる社会を
目指して

県では、今年の3月、循環型社会の形成に関する施策を総合的、計画的に推進するため、「福島県循環型社会形成に関する条例」を制定しました。また、来年3月を目途に、循環型社会形成推進計画を策定することとしています。県が目指す循環型社会は、次の3つの社会をいいます。

県が目指す循環型社会の3つの柱

1 「自然と人が共生する社会」

自然循環が保全された社会

大気、水、土壌、生物などの間を物質が循環する「自然循環」が健全に保たれるよう、自然の生態系などに配慮した社会です。

2 「ごみ」のない社会

適正な資源循環が確保された社会

限りある地球資源を有効活用するために、その消費の抑制に始まり、3Rを進めるなどして、資源として自然界から採取された物質が原材料や製品などとして循環する「資源循環」が適正に保たれた社会です。

3 「もったいない」の心が生きている社会

心の豊かさを重視した賢い生活様式 および行動様式が定着した社会

「もったいない」の心が生かされ、ものを大切にする、人や自然を愛するなど、心の豊かさや生活の質を重視した賢いライフスタイルが文化として定着した社会です。

※「適正な資源循環」だけでなく、「自然循環の保全」という考え方を取り入れたり、「ライフスタイル」にまで言及しているのが福島県の取り組みの特徴です。

③「もったいない」の心が生きている社会

自然や資源を大切に、循環型社会をつくらう!

循環型社会を形成していくためには、行政はもちろんのこと、県民、事業者、民間の団体など、さまざまな主体が連携しながら「県民総参加」で進めることが重要です。日常生活の中で、次のようなことに気をつけてみましょう。

- 物を大切にする、無駄にしない(ごみの発生抑制)
- unnecessaryな物は買わない、もらわない(ごみの発生抑制)
- いらなくなった物を譲り合う、フリーマーケットなどの利用(再使用)
- ごみを正しく分別したり、資源ごみの集団回収に協力する(再生利用)
- リサイクル素材で作られたものなど、環境に優しい商品を購入使用する
- 省エネルギーを心掛ける

「自然は循環している」「資源は循環している」といった視点から、皆さんの普段の生活や行動をもう一度見つめ直してみてください。今日からでも遅くありません。「もったいない」の心で実践しましょう!

問 県庁循環型社会推進グループ ☎024(521)7813 🌐http://www.pref.fukushima.jp/jyunkan/

「ポインセチア」

花編



いいもの
発見
うつくしま



華やかな色彩のポインセチアは冬の代表的な鉢花のひとつです。クリスマスを彩る花として定着し、贈り物としても人気があります。花びらのように見える鮮やかな部分は、苞葉(ほうよう)という葉が変形したもので、その真ん中にある黄色い部分が花です。赤が一般的ですが、他にもピンク、白、黄色、斑入りなどがあり、色を選ばず楽しみがあります。

県南地方、相双地方などが主な産地です。県内の栽培技術の水準は大変高く、全国レベルの品評会などで、これまで多くの賞を受賞しています。



花言葉は「聖なる願い」「祝福」。あなたの思いをポインセチアに託して伝えてみませんか。

詳しくはホームページをご覧ください。

http://www.pref.fukushima.jp/jinji/kouhyou/jinji_kouhyou.html

県職員の給与

福島県の職員(一般職員、教員、警察官など)の給与についてお知らせします。

問 県庁人事グループ ☎ 024(521)7035

1 人件費の状況

平成16年度普通会計決算

住民基本台帳人口

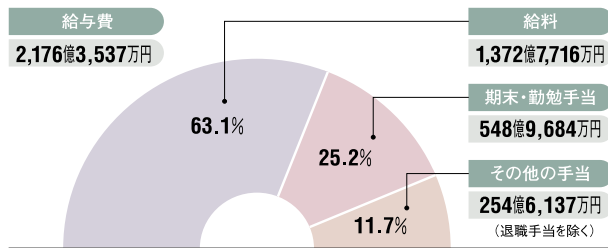
2,107,800人(平成17年3月31日現在)

歳出額(A)	実質収支	人件費(B)	人件費率(B/A)
866,738,916千円	3,174,694千円	287,768,718千円	33.2%(前年度31.4%)

※人件費には、特別職に支給される報酬なども含まれています。

2 職員給与費の状況

平成16年度普通会計決算



3 平均年齢および平均給料月額

区分	一般行政職員	警察官	高等学校教員	小・中学校教員	技能労務職員
平均年齢	42歳3月	42歳3月	42歳3月	42歳0月	48歳5月
平均給料月額	357,200円	367,300円	393,700円	395,000円	366,500円

4 初任給および学歴別・経験年数別平均給料月額の状況

区分	初任給	2年後の給料	経験年数10年	経験年数20年	
一般行政職員	大学卒	177,400円	190,200円	276,300円	391,300円
	高校卒	143,300円	154,300円	208,900円	346,200円
警察官	大学卒	203,000円	217,400円	300,600円	402,400円
	高校卒	163,300円	185,900円	256,800円	356,900円
高等学校教員	大学卒	198,000円	212,400円	317,700円	413,200円
小・中学校教員	大学卒	198,000円	212,400円	325,700円	412,500円

※経験年数とは、卒業後直ちに採用された場合は採用後の年数を、採用前に民間歴などのある場合にはその期間を換算し、採用後の年数に加算した年数をいいます。

5 特別職の報酬等の状況

	給料月額	報酬月額
知事	1,056,000円	議長 959,500円
副知事	875,500円	副議長 855,000円
出納長	801,000円	議員 788,500円

期末手当/年間3.30月分を2回に分けて支給

※知事・副知事・出納長の給料については、「知事等及び職員の給与の特例に関する条例」に基づき、それぞれ20%、15%、10%、議長・副議長・議員の報酬については、「福島県議会の議員の報酬の特例に関する条例」に基づき5%減額された後の額を記載しています。

6 一般行政職の級別職員数の状況

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	8級	9級	10級	11級	合計
標準的な職務	係員	係員	係員	主査	主査	本庁副主幹 出先課長	本庁副主幹 出先次長	本庁参事 出先所長	本庁参事 出先所長	本庁総括参事	本庁部長 地方振興局長	
職員数	73人	372人	709人	955人	403人	1,873人	858人	1,170人	176人	51人	33人	6,673人
構成比	1.1%	5.6%	10.6%	14.3%	6.0%	28.1%	12.9%	17.5%	2.6%	0.8%	0.5%	100.0%

※代表的な職種である一般行政職員に適用されている級別標準職務とその職員数および構成比の状況です。

7 職員手当の状況

職員には、国に準じて次のような手当が支給されています。

毎月支給される手当	扶養手当	扶養親族を持つ職員に対して支給
	調整手当	県外の特定地域に勤務する職員および採用が困難な医師に対して支給
	住居手当	世帯主として自宅に居住する職員および借家に居住し家賃を負担している職員に対して支給
勤務実績によって支給される手当	通勤手当	使用する交通機関所要額および交通用具使用距離に応じて支給
	単身赴任手当	単身赴任の距離に応じて支給
	特殊勤務手当	危険、不快、不健康または困難な業務に従事する職員に対して支給
その他	時間外勤務手当	正規の勤務時間を超えて勤務したときに支給
	期末・勤勉手当	年間4.4月分を2回に分けて支給。職制上の段階、職務の級による加算措置あり
	退職手当	退職者に対して支給

支給率

退職事由	自己都合	定年・勤奨	平均支給額
勤続20年	21.0月分	27.3月分	24,328千円 (平成16年度)
勤続25年	33.75月分	42.12月分	
勤続35年	47.5月分	59.28月分	
最高限度	59.28月分	59.28月分	

※定年前早期退職者に対する加算措置あり(2~20%)

8 職員数の状況

(各年度4月1日現在)

機関名	知事部局	企業局	病院局	議会事務局	教育委員会	警察本部
平成16年度	7,178人 (23人)	65人 (0人)	1,039人 (0人)	36人 (0人)	18,467人 (21人)	3,591人 (0人)
平成17年度	7,094人 (36人)	58人 (0人)	1,031人 (2人)	36人 (0人)	18,290人 (33人)	3,633人 (0人)
対前年度増減数	▲84人 (13人)	▲7人 (0人)	▲8人 (2人)	0人 (0人)	▲177人 (12人)	42人 (0人)

機関名	選挙管理委員会事務局	監査委員事務局	人事委員会事務局	労働委員会事務局	海区漁業調整委員会事務局	合計
平成16年度	5人 (0人)	25人 (0人)	13人 (0人)	13人 (0人)	6人 (0人)	30,438人 (44人)
平成17年度	5人 (0人)	25人 (0人)	13人 (0人)	13人 (0人)	6人 (0人)	30,204人 (71人)
対前年度増減数	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)	0人 (0人)	▲234人 (27人)

※職員数は一般職に属する職員であり、()内は再任用短時間勤務で外書です。
※減少の主な理由は、業務効率化および児童・生徒数の減少などによるものです。

けん 検しよう!

3 ターミナルビルを見学

ターミナルビルは空への玄関口。
駅と同じように改札やロビー、レストランやお店もあります。

搭乗手続きを体験

チケットを買って席が決まったら、
大きな荷物を預けます。
ここで爆発物など危険な物が
入っていないかどうかをチェック。



大阪や名古屋にも
行けるよ!



荷物を検査するんだ。

出発ロビーへ

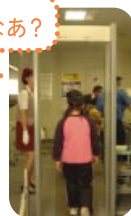
ここでは手荷物と搭乗者が検査されます。



大丈夫かなあ?

中が見える!

手荷物は中身が見える機械で、
搭乗者はゲートを通してチェック。
異常があると「ピー」と反応してさらに検査されます。



搭乗口

検査をクリアしたら、
いよいよ搭乗です。
チケットを入れて改札口を
通ると、そこには飛行機に
つながるブリッジが!

行ってきま〜す!



福島空港

福島県の空の玄関口、福島空港は平成5年3月に開港。
現在、国内5路線(札幌・名古屋・大阪・福岡・沖縄)と
海外2路線(ソウル・上海)が就航しています。
空港内には、ターミナルビル、管制塔、
消防車庫、気象観測装置などいろいろな施設や
2300台収容の無料駐車場があります。



ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/transport/fks.htm>

4 空港では専用の消防車と 医療用搬送車が待機

福島空港には万が一の

事故に備えて、
常に化学消防車と
医療用搬送車が
待機しています。

スゴイ!!



SF映画に出て
くるような形の
消防車!

3台ある大型化学消防車の1台で、

実際に放水してもらいました。

放水のコントロールは運転者ひとりで

全部できるのでそうです。放水見学後には試乗も体験!

医療用搬送車の中は、

応急処置用の医療機器や毛布がギッシリ。

福島空港では、幸いなことに実際に事故が発生して

出動したことは、

まだないそうです。

緊張するけど
すごく
おもしろい!



空港見学は初めてだったので思い出になりました。

搭乗待合室に入るときに荷物や
体のチェックをしたのが楽しかったです。



まっすぐな滑走路をゆっくりと動き出した飛行機はしだいに加速しながら地上を離れ、
 大空に向かって力強く飛び立っていく… 離陸シーンは見ているだけでもワクワクしてくるね。
 飛行機に乗るまでの手続きはどうするのか？
 空港にはどんな施設があるのか、
 ターミナルの中はどんな仕組みになっているのかも興味津々。
 今回は西山小学校の皆さんが福島空港を探検しました。



平田村立西山小学校5・6年生の皆さんの好奇心です。

1 管制塔は見晴らし抜群！

福島空港の管制塔は飛行機の離着陸に関わる指示や情報の提供を行う施設。
 遠くまでよく見えるように、塔の上に設置されています。
 空港付近を飛ぶ飛行機はすべてこの管制塔に無線連絡をしてくるんだよ。

ふつうは入れない管制塔。
 きょうは特別に見せてもらいました。
 高い位置にあるので飛行場全体を見渡すことができます。



要塞みたい！

視界が広いなあ！



テレビで見たことある！

英語で交信してる！
 カッコイイ！！

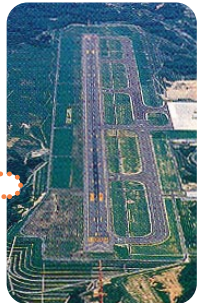
ラジャ！？

2 クルマで飛行場を一周

滑走路は2500m。
 周りは道路にぐるっと囲まれています。
 その「場周道路」をクルマで一周見学。

滑走路は毎朝パトロール点検を行い、安全確認をしています。

この広さ、学校が何個入るんだろう？！



札幌に行くんだって！



海外にも行けるよ！

途中下車して、札幌便の離陸シーンを間近でウォッチング！
 迫力満点でした。



いっしょに飛んで行きたい！

パイロットのおじさんが手を振ってくれたよ！



感想

飛行機が飛ぶところを近くで見たりして、とてもすごかったです。

飛行機に乗って旅行にいきたくなりました。

管制塔に入れたのがうれしかったです。



会津
若松市

SL「ばんえつ物語号」
ラストラン

貴婦人の愛称で親しまれている蒸気機関車「C57」が牽引するSL「ばんえつ物語号」。本年度の運行終了を記念した「クリスマスラストラン」が12月23・24・25日にJR磐越西線の新潟駅～会津若松駅間(往復)で行われます。SL「ばんえつ物語号」でロマンチックなひとときを過ごしてみたいかが。

問 磐越西線SL定期運行推進協議会
☎02550(22)0121



白沢村

「しらすわワイン」
新発売!

11月16日、白沢村オリジナルの「しらすわワイン」が村内酒店を中心に発売開始されました。村の遊休農園を活用して栽培されたブドウのマスカットベリーAと山形県ブドウを調合して醸造された赤ワインで、フルーティーな味わい特徴です。どうぞ、ご愛飲ください。

問 白沢村役場産業課
☎0243(44)2111



田島町

やさしさとふれあいの
「地域の足」

10月から「乗合タクシー」がスタートしました。路線バスに代わり、10人乗りのジャンボタクシーで県立南会津病院～栗生沢間を運行。狭い道路などへの進入も可能となり、きめ細かい運行で地域の皆さんから便利になったと好評です。料金は一律で、大人300円、小・中学生150円です。

問 田島町企画振興課
☎0241(62)6200



福島市

県観光物産館が
リニューアルオープン

今年で開館2周年を迎えた県観光物産館は、10月、さらに魅力ある施設を目指しリニューアルしました。県内の地酒を一堂に取り揃えとともに、最近話題の健康志向食品コーナーを新たに設置するなど品揃えを拡充しました。新しくなったコラッセふくしま観光物産館にぜひおいでください。

問 県観光物産館
☎024(525)4031

わがまち自慢

須賀川市 室田 孝雄さん・キノノさん



須賀川市「藤沼温泉やまゆり荘」



藤沼公園内にある「やまゆり荘」は、入浴・宿泊・食事の機能を備えた温泉施設です。泉質はアルカリ性単純泉で、神経痛や腰痛、関節痛などに効果があり、体がよく温まります。湯船につかりながらの藤沼湖の風景は最高です。

この名物は、なんといっても長沼産のそば粉を100パーセント使った手打ちそば。新そばの季節になると、特に土・日曜日や祝日は、昼過ぎには完売してしまうほどの人気メニューです。(ざるそば:500円、天ざる:800円)

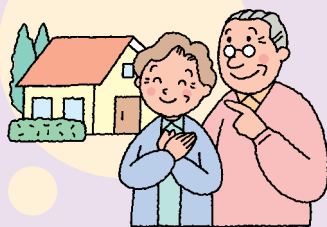
問 藤沼温泉やまゆり荘 ☎0248(67)3431 ※定休日毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

広聴 コーナー

うつくしま 県民意見公募の お知らせ

[1] 募集の目的

県では、県民生活に関連する重要な施策について、県民の皆さんからご意見をいただき、計画などに反映していくことを目的に「うつくしま県民意見公募」を実施しています。



[2] 計画などの公表方法

県庁県政情報センター（西庁舎1階）、各担当グループ、県政情報コーナー（県北を除く各地方振興局）で閲覧できるほか、県ホームページでもご覧になれます。

HP <http://www.pref.fukushima.jp/list/publictop.html>

[3] 意見の提出方法

- 住所、氏名、電話番号を記入の上、郵送、ファクスまたは電子メールで提出してください。
- 匿名のもの、電話によるものは受け付けできません。

[4] 今月の募集案件

① 県住宅マスタープラン

平成17年12月16日(金)から平成18年1月16日(月)まで

問 県庁建築住宅企画グループ

☎024(521)7519 ファクス 024(521)7955

② 第四次県高齢者保健福祉計画・第三次県介護保険事業支援計画「うつくしま高齢者いきいきプラン(仮称)」

平成17年12月26日(月)から平成18年1月27日(金)まで

問 県庁高齢保健福祉グループ

☎024(521)7165 ファクス 024(521)7985

③ 平成18年度県食品衛生監視指導計画

平成17年12月19日(月)から平成18年1月20日(金)まで

問 県庁食品安全グループ

☎024(521)7245 ファクス 024(521)7925

※②、③は各県保健福祉事務所でも閲覧できます。

[5] その他

「うつくしま県民意見公募」の結果については、後日、ホームページなどで公表します。

なお、意見提出者の個人名または名称を公表する場合は、あらかじめ個別にご了解をいただいた上で行います。皆さんからの、多数のご意見をお待ちしております。



田村市

おおかづらや
大鏑矢神社の
夫婦獅子舞

田村市船引町の大鏑矢神社に奉納されている夫婦の獅子頭は、天から降ってきたと伝えられています。毎年1月3日にはこれをかぶり、円満な夫婦愛を表現した夫婦獅子舞が披露されます。大同2年(807年)の旧正月6日に初めて舞われたという伝統芸能を、ぜひご覧ください。

問 船引行政局農林商工課
☎0247(82)1113



いわき市

かに・あんこう祭り!

小名浜港の周辺で味わう海の幸は、とびきり新鮮。これからの主役は「ずわいがに」や「あんこう」です。日本一の水揚げ高を誇る小名浜のあんこうは、とも酢和えや肝蒸しでも美味しくいただけますが、やはり鍋物が一番。12月からは、かに・あんこう祭りを実施中です。ぜひ冬の味覚を満喫してください。

問 小名浜旅館ホテル組合
☎0246(54)4220

とっておきのスポットや自慢の物産など
身近な「わがまち」情報をお寄せください。

「わがまち自慢」コーナーでは、皆さんからいただいた情報により、地域的话题を発信していきます。ハガキ、メール、ファクスでお知らせください。

〒960-8670 県庁県政広報グループ「わがまち自慢」係

☎メール)kouhou@pref.fukushima.jp (ファクス)024(521)7901

お知らせ

コーナー

募集

県文化振興基金 助成対象事業

県民の皆さんの文化活動を支援する(財)県文化振興基金では、平成18年度第1期分の申請を受け付けています。



▼**対象事業**／文化活動の成果発表、発表会への参加などで、平成18年4月1日から7月31日までに行う事業

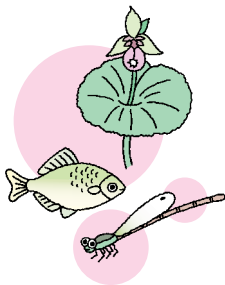
▼**対象者**／県内に住所または活動の本拠を有する個人・団体

▼**助成金額**／助成対象経費の3分の1または2分の1以内の額(事業ごとに限度額あり)

募集

野生動物植物 保護サポーター

県内の野生動物植物の保護を目的に、地域の動植物について情報提供などのボランティア活動をする「野生動物植物保護サポーター」を募集しています。



▼**対象**／県内にお住まいの20歳以上で、ボランティアとして野生動物植物の保護にあたる熱意をお持ちの個人

▼**募集人数**／35人程度

▼**応募期限**／平成18年1月4日(水)当日消印有効

▼**応募方法**／所定の申込書に必要事項を記入し、履歴書(市販のもの)を添えて郵送でお申

▼**申し込み期限**／平成18年2月28日(火)

▼**申し込み先**／市町村教育委員会

▼**問(財)県文化振興基金**
☎024(521)7786

募集

平成18年度児童福祉月間 ポスター図案

児童福祉月間(毎年5月)のポスターの図案を募集しています。イラストやお子さんの写真など、なんでも結構です。

▼**応募規定**／写真はLサイズ以上のプリント(フィルムカメラに限る)、その他の作品にあってはA4サイズ以上のもの。

▼**応募方法**／応募作品の裏面に、住所、氏名、年齢、性別、職業(学校名)、電話番号を記入し、郵送または持参してください。

▼**応募期限**／平成18年2月3日(金)当日消印有効

▼**応・問** T960-8670(住所記載不要)

▼**県庁子育て支援グループ**
☎024(521)7148

▼**HP** <http://www.pref.fukushima.jp/jidou/>

申し込みください。

▼**応・問** T960-8670(住所記載不要)

▼**県庁自然保護グループ**
☎024(521)7210

▼**HP** <http://www.pref.fukushima.jp/shizen/>

提案

コーナー

公的医療機関の 運営について

郡山市 千葉 和夫さん50代

公的医療機関の大きな役割は、県民負担を抑制し、安価で良質な医療を提供することだと思います。

このため、風力やソーラー自家発電の導入による維持管理費用の抑制、効率的な薬材の使用方法・購入方法の追求、病院管理学専攻者の採用など、経費削減と経営効率化を図るべきです。

また、病人などに配慮した施設整備、標準的な治療計画の構築、医師などの労働環境整備、医療症例検索や情報交換ができる専用ホ



ームページの整備なども積極的に実行してほしい。

回答

今後とも、**効率的経営に努めます。**

県立病院のソーラー自家発電や民間実務経験者の採用、また医科大学の薬品や治療材料の使用・購入方法の追求のように、既に検討し実施中のものもありますが、多くは今後の病院管理運営の参考となるご意見と考えます。したがって、県立病院および医科大学のあり方を十分考慮し、関係機関とも協議・検討し、導入が妥当なもの、積極的に導入したいと考えています。

なお、医科大学は、平成18年4月の地方独立行政法人への移行を予定しており、現在、全業務の見直し検討を進めています。

▼**問 医科大学事務局管理グループ**

☎024(547)1819

▼**問 県庁病院局経営グループ**

☎024(521)7859

●募集

うつくしま・宝発見
フォトコンテスト作品

本県の美しさや新たな魅力を捉えたフォトコンテスト作品を募集しています。



▼うつくしま・ふくしまの部
自然、街並み、人など福島県の美しさを捉えた作品。4つ切り(ワイド可)またはA4プリントに限る。

▼ふくしまの宝発見の部
私が見つけた「福島県の新たな魅力」を捉えた作品。電子データ(JPEG・MB以内)のメール応募に限る。

▼応募期限/12月31日(土)当日消印有効

▼その他/詳しくはお問い合わせください。

☎・問 960-8670(住所記載不要)

県庁県政広報グループ内「フォトコンテスト」係

☎024(521)7014

HP <http://www.utsukushima.info/>

●催し

青少年
健全育成地域フォーラム

小・中学生が自らの地域への夢や思いを、NPO法人や学校などの支援を受けながら実現する活動について、その成果を発表します。



また、NPO法人や地域の青少年育成団体などの関係者により、子どもたちに夢と希望をもたせ、心豊かに育てるための取り組みについて、意見交換を行います。
入場は無料です。ぜひご来場ください。

▼日時/平成18年1月21日(土)午後1時～4時

▼場所/福島市子ども夢を育む施設「こむこむ館」(福島市早稲町)

☎024(521)7187

問 県庁青少年グループ

●催し

第3回超学際セミナー

「自立したコンパクトシティを目指して」をテーマに、産学民官連携による新しいまちづくりについて考えるセミナーを開催します。参加は無料です。ぜひご参加ください。

▼日時/平成18年2月6日(月)午後1時30分～4時

▼場所/白河地域職業訓練センター(白河市中田)

▼講師/福島大学教授 鈴木浩さんほか

▼申し込み方法/住所(団体名)、氏名、連絡先を記入し、郵送またはファクス、電子メールでお申し込みください。

▼申込期限/平成18年1月31日(火)当日消印有効

☎・問 960-8670(住所記載不要)

県庁首都機能移転・超学際グループ

☎024(521)7129

ファクス 024(521)7911

☎メール pc-capital@prefukushima.jp



知事公館の一般公開

各種式典や来県した賓客のおもてなしなどで使用している知事公館を一般公開しています。

公開に合わせ、県所有の美術作品や県内の伝統工芸品、現在の福島県成立時の歴史的資料などを展示しています。

入館は無料です。ぜひご観覧ください。



公開日時

月曜日から金曜日の午前10時から午後3時まで。
(休日・年末年始・県が使用する日を除く)

予約方法

見学には事前の予約が必要です。観覧希望日の1カ月前から1週間前までに電話でお申し込みください。受付は平日の午前9時から午後5時まで。

その他

観覧の所要時間は約1時間です。グループの場合は10人以内でお願いします。また、小学生以下のお子さんの観覧については、大人の同伴が必要です。



野口英世「川魚の図」



特別室もゆっくりとご覧いただけます

☎・問 知事公館 ☎024(521)2422

●催し 描かれた村の暮らし

近世の村絵図を解説することで、絵図に描かれた家々からは集落の様相を、蛇行する河川からは洪水による荒地の様相を把握できます。

今回の展示では現存する村絵図40点を通して、失われた村の暮らしを考えます。

▼会期／12月3日(土)～1月15日(日)(月曜日休館)

▼場所／県歴史資料館(福島市春日町)

▼入場料／無料

問県歴史資料館

☎024(534)9193

●案内 合同庁舎の名称変更

所在する市町名が合併により名称変更されることから、県合同庁舎の名称を変更します。

○保原合同庁舎→伊達合同庁舎

○原町合同庁舎→南相馬合同庁舎

▼变更日期／平成18年1月1日

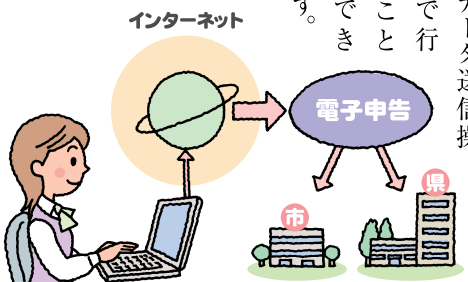
問県庁施設管理グループ

☎024(521)7075

●案内 地方税電子申告

平成18年1月から、法人県民税・事業税の電子申告が始まります。

電子申告は、インターネットを通じて行う申告で、複数の地方公共団体への申告を二回のデータ送信操作で行うことができます。



電子申告を行うには、電子証明書をご用意いただき、エルタックスホームページ(<http://www.eltax.jp>)から利用届出を行っていただく必要があります。

詳細は、エルタックスホームページでご確認ください。

問最寄りの県地方振興局県税部署または県庁課税収税グループ

☎024(521)7069

●案内 12月は地球温暖化防止月間です

電気や燃料(ガス、灯油、ガソリンなど)を使用することにより温室効果ガスである二酸化炭素が排出され、地球温暖化が進行します。



その結果、海面上昇や異常気象など深刻な影響が心配されています。

冬季、特に12月は暖房機器の使用や車の交通量の増加により、二酸化炭素が多く排出されます。

地球温暖化防止のため、節電やアイドリング・ストップなど省エネルギーを実践しましょう。

問県庁環境活動推進グループ

☎024(521)7248

●案内 積雪・凍結時の交通事故防止

積雪・凍結時の交通事故防止

これからの季節は、積雪や

路面凍結により、スリップ事故が多発します。次のことに注意して交通事故を防ぎましょう。

○急発進、急加速、急ブレーキ、急ハンドルなど「急」のつく運転は絶対に避ける。

○乾いた路面が続いても、橋の上や日陰は凍結しているため、速度を十分に落とす。

○冬の道は大変すべりやすく危険なので、冬用タイヤやチェーンを早めに装着する。

問県警察本部交通企画課

☎024(522)2151

●案内 油流出事故防止

灯油を使用する機会が増えています。

使用量増加に伴い、家庭から灯油が河川に流れ込む事故が発生しています。

事故の多くは給油中の不注意、ホームタンクなどの整備不良による漏洩です。

給油などの際は、注意しましょう。

問各建設事務所または県庁河川企画グループ

☎024(521)7484

福島県文化センター

福島市春日町

12月15日(木)～18日(日)	福島大学教育学部美術研究会「定期展」
12月17日(土)～18日(日)	第25回ALL福島大学写真展
1月14日(土)～15日(日)	県文化センターワークショップ「舞台技術講座」*
1月15日(日)	県文化振興事業団フィルム上映会
1月28日(土)～29日(日)	県文化センターワークショップ「演劇講座」*
1月29日(日)	福島歌謡振興会新春チャリティーカラオケ大会

☎024(534)9191 <http://www.culture-center.fks.ed.jp/>

*事前の申し込みが必要です。(イベントは入場無料) ●予定につき内容が変更される場合があります。また、このほかにたくさんのイベントが開催されます。

コラッセふくしま

JR福島駅西口

12月 1日(木)～ 6日(火)	ふくしま冬の餃子まつり
12月 8日(木)～11日(日)	第5回手作りショップ
12月23日(金)	コラッセクリスマスコンサート
1月 1日(日)～ 6日(金)	新春ご年始お土産フェア
1月13日(金)～19日(木)	第40回県高等学校書道展
1月17日(火)～23日(月)	ふくしま自慢の鍋グルメフェア

☎024(525)4020(ただし、土・日・祝日を除く) <http://www.corasse.jp/>

施設ガイド

福島県立美術館

福島市森合字西養山1
☎024(531)5511

「美術館への年賀状展」●1月12日(木)～31日(火)

県内の小・中学生から版画やイラスト、はり絵などの手作り年賀状を募集します。

届いた年賀状はすべて展示します。たくさんの素敵な楽しい年賀状お待ちしております。

【応募方法】年賀状のために制作した作品をはがきによりお送りください。

技法、画材は自由です。郵便番号、住所、氏名、学校名、学年を記入しお送りください。学校、グループ単位での応募もできます。

【応募期限】平成18年1月5日(木)当日消印有効

☎024(531)5511 福島市森合字西養山1 県立美術館「美術館への年賀状展係」

福島県立博物館

会津若松市城東町1-25
☎0242(28)6000

「集めて楽しい・身近なもの

—館蔵コレクション展—

●3月26日(日)まで

郷土玩具や絵はがき、納札や各種切符など当館が収蔵する多彩なコレクションを紹介します。



福島県文化財センター白河館 まほろん

白河市白坂字一里段86
☎0248(21)0700

まほろん実技講座「古代のガラスの技術にふれよう」●1月28日(土)

古代の技術をモデルにして、ガラスのアクセサリーづくりを行います。募集人員は20人程度で、対象は小学生以上です。材料費300円が必要です。締め切りは1月22日(日)。申し込みはまほろんまで。

ふくしま海洋科学館 アクアマリンふくしま

いわき市小名浜字辰巳町50
☎0246(73)2525

「アクアマリンスターライト—光の祭典—」●1月9日(月)まで

入口やエントランス、街路樹などを75,000球のイルミネーションで彩ります。また、12月23日(金)から25日(日)までは「アクアマリンクリスマス」と題し午後8時まで延長します。

午後5時以降は、大人1,000円、小学生～高校生500円の特別料金で入館いただけます。



ビッグパレットふくしま

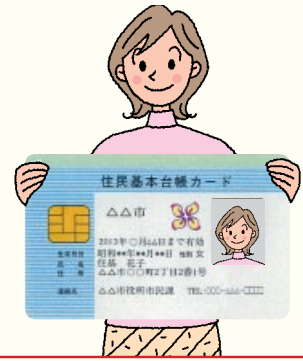
郡山市安積町日出山字北千保19-8
☎024(947)8010

会期	イベント名	問い合わせ先
12月 8日(木)～ 12日(月)	骨董大市・棚卸大市	☎0436(22)6200
12月 9日(金)～ 11日(日)	2006新作ニット展示即売会	☎024(577)0729
12月15日(木)～1月22日(日) (12月30日～1月2日は休み)	人体の不思議展**	☎024(961)9508 12月15日以降 ☎024(946)7200
12月24日(土)～ 25日(日)	お猿のサーカス隊と ミス・サリバンショー&ビッグフリマ*	☎090(5400)9296
1月28日(土)～ 29日(日)	ふくしまうまいものフェスタ2006**	☎024(524)0871

◎年末年始の休館は12月30日(金)～1月2日(月)です。*有料のイベントです。(他イベントは入場無料)

●予定につき内容が変更される場合があります。また、このほかにもたくさんのイベントが開催されます。

「住基カード」



ご存知ですか？

- 住基ネットでの本人確認に利用できます。
- 写真付きは、身分証明書として利用できます。
- 電子申請・届出で利用する電子証明書を記録できます。

10月号の意見・感想から



- 「県民だより創刊200号」特集へ、「県庁探検を興味深く読んだ」「知らない県庁の歴史がわかった」「昔を懐かしく思い出した」「これからも県政をわかりやすく紹介して」など、たくさんのご意見・ご感想をいただきました。また、「県立大学法人化」のニュースも関心が高く「法人化の理由がわかった」「今後に期待します」などたくさんのご意見・ご感想をいただきました。
- ▶これからも、わかりやすく県政をお伝えすることに努めていきますので、たくさんのご意見・ご感想や地域の情報をお寄せください。

10月号の正解 ◎ 県立医科大学

応募総数537件(正解477件)

当選者 (順不同)	住所
滝沢 セツ子さん	(金山町)
斉藤 まさ子さん	(梁川町)
本田 加代さん	(郡山市)
橋本 和昭さん	(郡山市)
鈴木 啓子さん	(大玉村)
佐久間 正元さん	(いわき市)
横山 恵子さん	(会津美里町)
久野 功さん	(郡山市)
佐藤 カツ子さん	(郡山市)
伊東 美穂さん	(二本松市)
森原 唯夫さん	(愛知県)
中村 良夫さん	(郡山市)
五十嵐 敬一さん	(三春町)
生江 紋子さん	(郡山市)
大場 武さん	(大玉村)

グループ紹介
スクラム
ふくしま



6月、青々と実った「ゆきちから」



なの花会 の皆さん

●代表者/石井友子 ●連絡先/田村郡小野町大字浮金字馬場107 ☎0247(73)2540

小麦粉からすべて素材は地元産。
土地のチカラがおいしさを
引き出してくれます。

眺めのいい明るい工房でパン作りやお菓子作りに励む「なの花会」のみなさん。高原の里小野町で3年前にスタートしたパンづくりのグループです。きっかけは県産小麦「ゆきちから」との出会い。「地元産の小麦100%」でパンが作れると聞いて感動した石井さんが、小麦の栽培からぜひ自分たちの手で、と4人の仲間とともにチャレンジしました。

「ゆきちから」はパンやうどんの加工に適した小麦。11月のはじめに種を蒔き翌年の7月に刈り取って製粉します。ゆきちからで作られたパンは、ふっくらして弾力もしっかり。かぼちゃ、紫芋、じゅっねんといった地元食材とのコラボレーションで、菓子パン、蒸パン、ケーキなどをアレンジします。

「いま石窯を作っているんです。地域の子どもたちに石窯のパン焼き体験してもらいたくて」と石井さん。取材の日は皆さんで小麦まんじゅうづくりを実演。できたてのアツアツを試食させてもらいました。しっとりモチモチの皮にくるまれた自家製の粒あん。懐かしくてやさしい小春日和のようなおいしさでした。

「なの花会」の製品は、小野町の直売所「おのいち」で販売されています。
(毎週水・土・日曜日と祝日営業)



明治のロマン、
「天鏡閣ケレーセット」が当たる!

循環型社会のキーワードは、
問題 ○○○○○○
○の中に平仮名を入れてください。(ヒントは3ページ)



表
9608670
県庁
県広報グループ
「夢だより」クイズ係

裏
クイズの答え
○●○○○○○
興味を持った記事
ご意見・ご感想
お名前 ご住所
電話番号 年齢 ご職業

●応募方法/ハガキまたは電子メールにクイズの答えと、本誌の中で興味を持った記事と本誌についてのご意見・ご感想などをお書きの上、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を記入しお送りください。正解者の中から抽選で10名様に国民宿舎「翁島荘」オリジナル「天鏡閣ケレーセット(ケレー2缶、古代米)」を差し上げます。
●締め切り/平成17年12月31日(土) 当日消印有効
●当選発表/本誌次号(2月号)で発表します。

URL <http://www.pref.fukushima.jp/kouhou/> eメール kouhou@pref.fukushima.jp

福島県

[編集・発行] 福島県県政広報グループ
〒960-8670 福島市杉妻町2-16 TEL.024-521-7014

<県の人口>

10月1日に行なわれた国勢調査のため、12月中旬まで県の人口の公表が延期されています。次号までお待ちください。



PRINTED WITH SOY INK! この広報誌は、古紙配合率100%の再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。